実践記録

「志津里山自然学校」プログラム②
「ホタルと友だちになろう」

実施日	活動場所	参加者	講師	スタッフ
2026.6.6 18:30～21:10	志津まちづくりセンター 青地町内の伯母川	39名 新期生 22名 こども運営委員 17名	1名 鈴木道弘先生	24名 運営委員18名(山元様　OB・OG11名　ボラ会6名) まち協2名(我孫子様　政川様) 市4名

◆運営委員による企画・運営2年目

○スタッフまちセン集合→打合せ→準備　17:30

○参加者集合・受付　18:10 【写真①】


①

あいさつ・日程説明等　18:30～18:45

進行・・・本プログラムの進行リーダー(3期生)

①「志津里山自然学校」山元校長の挨拶

②今日の日程説明(進行リーダー)

③講師・班スタッフ紹介(進行リーダー) 【写真②】



②

ホタルに関する話　18:45～19:05

■講師・・・鈴木 道弘先生

■生物多様性の学び・・・ホタルを通して生物多様性の恩恵や人間生活との関わりを考える

※スライドを活用しクイズを交えながら説明 【写真③】

「ホタルはなぜ光るのですか？ ホタルの光は・・」

・目を楽しませ心を和ませる ・自然のすばらしさを伝える

・ふれあいの場をつくる ・世代を超えた交流を促す

→ 生物多様性の恵みの一つ「文化的サービス」に気づく



③

「ホタルがすむ環境が変化しています」

・河川改修・浚渫工事・宅地開発などによる環境変化

・人間の暮らしの夜行性化はホタルにとっては「光害」

→ 日常生活や社会活動が生物多様性にどのように関係しているかに気づく

「ホタルから思うことは・・」

・人間は生態系の頂点。自然の恵みの中でいろいろな生き物たちに支えられ生きている。

→ 生物多様性の重要性に気づく

・自然の営みの中、人間の豊かさや便利さだけを求めるのではなく、いろいろな生き物たちが生きている環境を考えること、生物多様性が大切。

→ 生物多様性と人間生活との関わりを考える


④

ホタルの紙芝居　19:05～19:15

■読み手・・・3期生(姉・弟)【写真④】　3期生【写真⑤】

■タイトル・・・「ホタルくんとカエルさん」「ゲンジボタルのゲンちゃん」

感想例　・紙芝居がとても良かった。読み聞かせがとても可愛らしい。
・とても情緒的な読み方も素晴らしかった。
・紙芝居やホタルの知識を教えていただいた後の観察だったので背景まで考えられた。


⑤

○ホタル観察の説明・注意事項　19:15

4班編成で行動する　各班に運営委員が3名つく　持ち物

○トイレを済ませ人数確認　19:20

実践記録

ホタル観察　19:30～20:40

○観察ルート　【写真⑥】

往路・・・まちセン出発⇒富農橋⇒伯母川沿い⇒山田橋手前右農道⇒次の橋の手前でUターン

復路・・・往路を引き返す

○安全対策

①事前の観察ルート下見　②各班にスタッフ3名　③観察前後の人数確認

○ホタル出現場所 【写真⑦】

今年度も青地町の伯母川での目撃情報が多かったため昨年度と同じ経路をとる。昨年度と比べ少なかったが、山田橋手前農道に入った辺りで観察することができた。【写真⑧】

○運営委員の活躍

先頭に立ち随時人数確認や声掛けをするなど、安全に留意した姿が見られた。

○参加者の感想例

・ホタルを近くで見ることができたことが楽しかったです。
・こんなにもホタルがいるということを知りました。
・木の近くにいることが多かったような気がする。
・ホタルが光っているところがきれいだなと思いました。

○志津まちセン到着・人数確認　20:40

振返り・連絡　20:45～21:10

○振返り 【写真⑨】 ➡ホタルマップ（家族用と全体用）へシール貼り 【写真⑩】

ホタルが出現した場所にシールを貼る。

○感想例

質問1　一番楽しかったこと・心に残ったことは？

・ホタルが光っていたことが心に残った。
・ホタルを手に乗せて見れて嬉しかった。見とれてしまった。
・こんな身近なところにホタルがいるなんて知らなかったのでまた見に来たいです。

質問2　新しい発見・初めて知ったことは？

・いろんなホタルがいることを知れて嬉しかったし、大好きになりました。
・ホタルは結婚相手を探すために光らせていることを知りました。
・ホタルがこんなに身近にいることを初めて知りました。

質問3　その他　思ったことなどは？

・ホタルのことをいっぱい話してくれたので私も伝えたくなった。
・自然を感じられて良かった。またホタルを見たりさわったりしたいです。
・日本にはこんなにもホタルがいるんだなと思いました。
・この体験を通して、子どもたちは自然を大切にしようという気持ちが少しでも芽生えたと思いました。

運営委員の振返り　21:10～21:20

・子どもたちがリーダーとなって動いてくれ回を追うごとにリーダーシップを発揮していました。
・ボランティアや他の大人との関わりが普段より多かったと思います。
・経験者が新期生に例年の情報など交換出来ていたので良い学びになったと思う。自分も伝えることができて良かったと思う。班長制はやりがいがあって良かった。
・姉弟の読み聞かせがとても可愛らしい。情緒的な読み方も素晴らしかった。

■本実践の評価は別紙参照

※別紙：令和8年度「志津里山自然学校」プログラム②の評価


⑥


⑦


⑧


⑨


⑨


⑩